作成日
2024年1月19日　第1版作成

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院腎臓内科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：日本腎生検レジストリー (J-RBR)を利用した Organized deposit を伴う腎症の実態調査

1．研究の概要

2007 年より腎生検を受けた患者さんについて「わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築」の研究題目で Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR)の登録が行われています。腎生検実施施設より、症例毎の病理組織診断、血液・尿検査所見などが登録され、その情報を基に、生検実施症例数、病理組織診断分類、臨床所見に関する統計調査が毎年行われているものです。この J-RBR の病理診断カテゴリのうち、Organized deposit を伴う腎症としてイムノタクトイド糸球体症、細線維性糸球体腎炎、フィブロネクチン腎症、コラーゲン線維性腎症が登録されており、現時点ではこれらの疾患は腎生検の実施によってのみ診断し得る腎症となっております。この病気が占める割合は約 0.2%と非常に稀で、本邦での実態は依然として不明です。イムノタクトイド糸球体症、細線維性糸球体腎炎においては海外の報告がありますが、人種差なども含め本邦における調査が必要と考え、本研究を計画しました。

【実施責任者】
宮崎大学医学部内科学講座循環器・腎臓内科学分野　　菊池　正雄

2．目的

腎生検データベースである J-RBR のデータを用いて、イムノタクトイド糸球体症、細線維性糸球体腎炎、フィブロネクチン腎症、コラーゲン線維性腎症についての疫学を明らかにします。
なお、この研究は、上記疾患に関連する新しい知識を得ることを目的とします。

3．研究実施予定期間

この研究は、研究機関の長の許可後から 2026 年 3 月まで行われます。

4．対象者

J-RBR に 2007 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日までに登録された症例が対象です。
病理診断カテゴリのうち、Organized deposit を伴う腎症 (イムノタクトイド糸球体症、細線維性糸球体腎炎、フィブロネクチン腎症、コラーゲン線維性腎症、その他)

5．方法

J-RBR に登録されたデータを用います。新たに情報取得の予定はありません。
JRBR 登録症例のうち「Organized deposit を伴う腎症」に関連するデータを抽出し、臨床・

作成日
2024年1月19日　第1版作成

病理学的病型分類に基づいて疫学的及び腎予後に関連する因子(腎機能、尿蛋白、年齢など)の解析を行います。

宮崎大学医学部附属病院腎臓内科
氏名　落合　彰子
電話：0985-85-0872
FAX：0985-85-6596